

CARLO RATTI

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- Italian architect, engineer, inventor, educator and activist.



Topics

- Business
- Creativity
- Future
- Innovation
- Management
- Technology

Carlo Rattiはイタリアの建築家であり、トレーニングを受けたエンジニアであり、マサチューセッツ工科大学でSenseable City Labを監督しています。彼はパリのPolitecnico di TorinoとÉcole Nationale des Ponts et Chausséesを卒業し、後に英国ケンブリッジ大学で修士号と博士号を取得しました。

Carloはいくつの特許を保有しており、250を超える出版物を共著しています。建築雑誌Domusとイタリアの新聞Il Sole 24 Oreに定期的に寄稿しているだけでなく、BBC、La Stampa、Scientific AmericanとThe New York Timesのために書いています。彼の作品は、ヴェネツィア・ビエンナーレ、バルセロナのデザイン博物館、ロンドンの科学博物館、サンフランシスコのGAFTA、ニューヨークの近代美術館などで開催されています。

Carloは、Esquire Magazineの '2008 Best & Brightest' リスト、およびThames & Hudsonの '60人のイノベーター'のセレクションの中で、私たちのクリエイティブな未来を形作ってきました。2010年にブループリントマガジンは彼を 'デザインの世界を変える25人'の一人として含み、フォーブスは2011年に彼を 'あなたが知る必要のある名前'の一人として挙げ、Fast Companyは '50人の一人として彼を指名しましたアメリカの影響のあるデザイナー'。また、Wired Magazineの「Smart List 2012: 世界を変える50人の人々」にも掲載されました。2008年世界博覧会での彼のデジタルウォーターパビリオンは、「最優秀発明賞」の1つとしてタイム誌から歓迎されました。2012年にカルロは彼のデザインオフィスで 'Premio Fondazione Renzo Piano'のトップ3若手建築家の一人として選ばれました。

カルロは、TED 2011の発表者、モスクワのストレルカメディアデザイン研究所のプログラムディレクター、ベルリンの2012年BMWグッゲンハイムパビリオンのキュレーターであり、クイーンズランド州政府によって就任イノベーターインレジデンスに選ばれました。イタリア文化大臣はまた、カルロをイタリアデザイン評議会のメンバーとして指名しました。これはイタリアのデザインの25人のリーダーを含むイタリア政府への諮問委員会です。彼は現在、世界経済フォーラムの都市管理のためのグローバルアジェンダ評議会のメンバーを務めており、ミラノで開催されるエキスポ2015の未来食料地区パビリオンのキュレーターです。